

【P-3-304】

インスリン自己注射患者に対する指導管理について

幸町記念病院

○松岡 亮（まつおか あきら）、隅田育代、秦 佳子、田中典子、尾上真希、藤本清美、榮 訓代、高津成子、岡 良成、宮崎雅史

【はじめに】糖尿病性腎不全の透析患者は糖尿病の治療歴が長く、インスリンの使用方法が自己流になっているのではないかと考えアンケート調査を実施し、薬剤師の立場から患者への指導等を行ったので報告する。

【方法】当院に通院または入院中のインスリン使用患者を対象に、患者または家族等に聞き取り調査でアンケートを実施した。

【結果】アンケートの結果、インスリン混和回数、保管方法及び施注時間など問題点が明らかになり、改善策を検討し指導を行った。また、一部の患者に対し医師との検討後インスリンの変更を行った。指導後にはほとんどの患者において使用法、血糖値が改善された。

【まとめ】アンケートの実地により患者自身も変化に気がついていない実態など、様々な問題点が明らかとなった。患者側からの質問を待っているだけでなく、日頃の会話から患者情報をキャッチし対応するために、すべての医療部署間のチームでの密な連携が必要である。